

SCOUTING

2021
No.744
7

来る100周年 記念事業のあらまし

令和3年度 Web全国大会報告

3度目の宇宙飛行から帰ってきました!

野口宇宙飛行士からのメッセージ



SCOUTS®
Creating a Better World



そなえよつねに
ボーイスカウト

CONTENTS

- 02 来る100周年
記念事業のあらまし
- 04 令和3年度 Web 全国大会
～100周年まであと、〇マイル～
- 07 お帰りなさい！
ボーイスカウト・アンバサダー 野口宇宙飛行士
- 08 進歩に関する特別措置の継続について
- 10 2020年度の「ボーイスカウトとあそぼう！
ワクワク自然体験あそび」を振り返って
- 12 国内での国際交流を楽しもう
～JOTA-JOTI～
- 14 スカウティングとSDGs
—一緒に行動しよう！持続可能な社会のために—
- 15 全国ローバースカウト会議（RCJ）
2021年度総会
- 16 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2021
- 17 信仰奨励
- 18 野外活動のための安心・安全講座
東日本大震災10年～地震列島日本に暮らす～
- 19 維持会員
- 19 ローカルホットライン
- 21 国際デー～世界と共に考えよう～
- 23 スカウトショップ
- 24 広告 ボーイスカウト静岡県連盟



ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念事業

来る100周年 記念事業の

2022（令和4）年4月1日～翌年3月31日までを事業年度

祝賀事業

9月～11月 候補日調整中

記念式典／代表スカウト・指導者、特別来賓
等1,900人〔於 明治記念館〕

レセプション／代表指導者、来賓等450人
〔於 明治記念館〕

この日は13:00～記念式典、15:30～レセプションと2事業を同日開催する計画です。各県連盟から6人ずつの参加を想定しています。

全国キャラバン・県連盟記念事業

新たに内容を発展させる防災キャラバン

新たな自然環境調査プロジェクト

スカウトたちが100周年をお祝いできる機会であることを強調し「スカウトの探求心が未来の地球を創る」として土壌調査プロジェクトを計画。環境問題にスポットを当て、特に「土壌」について研

究するプログラムとして、全部門のスカウトや一般の子ども達も参加できるものにしていきます。

第18回日本スカウトジャンボリー

8月東京中央会場と全国6ブロックサテライト会場で分散開催。

8月7日（日）東京ジャンボリー大集会／全国の代表スカウトが集まり、全国とオンラインで繋いだ1日型プログラム

ジャンボリーサマー2022／夏休み期間に県連盟、地区、団、隊で行う様々なキャンププログラムを18NSJとして認定する

コロナ禍で大きな変化をしている私たちの日常生活や野外活動の基準に対応して、ジャンボリーもこれまでとは大きくコンセプトを変更し、全国のブロック分散開催方式をとることで、ジャンボリーの火を絶やさず、あわせてスカウト野営の再興

1907年にスカウト運動が英国で産声を上げて間もなく、その息吹は日本へ伝わり、各地で少年団などの名前でボーイスカウト運動が始まりました。そして1922（大正11）年4月。全国各地の少年団が静岡に集結し、「少年団日本連盟」を発足しました。

日本連盟結成の翌年に日本を襲った関東大震災では、復興活動に精力的に取り組むスカウトたちの姿（左写真）が多くの人の目に触れ、周囲の人のために役立つことができる青少年を育成する、というこの運動の目指すところを広く社会に伝え、評価される契機ともなりました。

社会に貢献できる若者たちを長年にわたって育成してきたボーイスカウト日本連盟は、いよいよ来年、創立100周年を迎えます。

数多くの諸先輩、この運動を応援して下さる社会の皆さまとともに、記念すべき年を祝っていただけるよう願って計画している記念事業のあらましをご紹介します。

100周年記念事業実行委員会
委員長 佐野友保

あらまし

として、これらの記念事業を展開します。

を目指す大会としていくことに。全国のスカウトが仲間と班活動の楽しさを見出し、日本中の仲間がオンラインでつながりあって共有しあえるような大会を、力をあわせて創造していくことを目指しています。

特別表彰事業

新たな章の創設

100周年記念特別表彰

これらの2本立てで検討を進めています。

記念誌編纂事業

『日本ボーイスカウト運動史 III』

『100周年史』（上巻）

上記の2種を発行。各都道府県連盟の今日を築いた連盟長等4役の経歴や2022年度に加盟登録のある全団の発団順掲載なども、各県連盟の協力

をいただきながら刊行していきます。

スカウトミュージアム建設事業

那須野宮場の整備、施設建設

収蔵品のデジタル公開

これらを検討し、各種記念品、貴重書籍、写真等の整備・公開準備を進めています。

特別募金事業

100周年を契機としたミュージアム（デジタル・リアル）

未来の子どもたち支援の基金

上記の2つの募金事業を計画中です。

その他の事業

記念ソング制作／記念切手発行／BS展示会開催等を計画しています。



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

現在計画中のもので、今後変更の可能性があります。

報告

令和3年度 Web全国大会

～100周年まであと、〇マイル～

5月29日(土)、30日(日) 静岡・熱海での開催を予定していた今年の全国大会は昨年
に続いてオンラインでの開催となりました。土曜日は関係諸会議と、およそ1時間の全体会を
YouTube で配信。日曜日は全国スカウト教育会議(テーマ集会)を7つのテーマにわかれて、オ
ンライン会議方式で開催しました。

29日の全体会を中心に、その全容をご報告します。



開催約1か月前の始動

熱海での開催準備を進めていた今年の
全国大会。ゴールデンウィーク直前に発せ
られた3回目の緊急事態宣言を受け、開催
まで約1か月の段階でオンライン開催への

変更が決まりました。急遽、昨年の配信を
成し遂げたメンバーらに声がかかり、全国
の有志ボランティアチームにより昨年以上
の急ピッチで作業が進められていきました。

オープニングアクト

今年の Web 全国大会のオープニング
は、昨年の開催予定地神奈川連盟の横浜
カラーチームによるフラッグパフォーマンス
と、今年の開催予定地静岡県連盟の静

岡第26団トランペット鼓隊の演奏でスター
ト。熱海の会場での共演はかなわなかった
両チームでしたが、それぞれの動画による
コラボで開会に華を添えてくれました。



オープニングアクト

神奈川連盟 横浜カラーチーム
静岡県連盟 静岡第26団トランペット鼓隊

水野正人理事長挨拶

日本連盟総裁推戴式、御手洗富士夫総裁挨拶

コロナ禍の中でも活動する「団の活動」紹介

岡山連盟西大寺第1団 ワクワク自然体験あそび
愛知連盟 ハイアドベンチャープログラム

令和3年度全国大会表彰

100周年記念事業のあらまし

18NSJ 準備状況について

100周年記念グッズ、 静岡県連盟制作記念グッズ等紹介

静岡県連盟松村武博理事長挨拶

奥島総長からのメッセージ

静岡県連盟100周年を振り返る

次年度開催地 PR

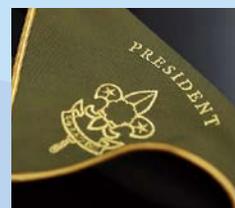
水野理事長あいさつ

この春新たに就任した水野正人理事長
からは、新しい生活様式でコロナに負けな
い活動に加えて、SDGs への取り組みの推
進が呼びかけられました。



総裁推戴式

5月某日、東京のキヤノン本社内で執り行
われた御手洗富士夫総裁の推戴式。福島正己
日本連盟コミッショナーと奥島孝康総長から
総裁専用のネッカチーフが贈られ、ユニフォー
ムに身を包んだ御手洗総裁によるおきての唱
和と着任のご挨拶がありました。24年ぶりに
総裁、総長が揃うことになった日本連盟。その
厳かな推戴式の
模様が紹介され
たのち、歴代の総
裁・総長の紹介が
ありました。



■ コロナ禍の中でも躍動する「団の活動」紹介

岡山・西大寺第1団

岡山・西大寺第1団 二宮雄一副団委員長と、お嬢さんであるカブ隊隊長の愛莉さんから、ワクワク自然体験あそびを契機として新しい仲間を迎えるさまざまな工夫の事例について。



二宮雄一
西大寺第1団
副団委員長

愛莉さん



愛知連盟

愛知連盟 長谷川榮一県連盟コミッショナーからは、県連盟としてコロナ禍の中でのスカウトたちの進級に取り組んでいるベンチャースカウト年代のハイアドベンチャープログラムについて。



長谷川榮一
愛知連盟県連盟
コミッショナー



それぞれの取り組み、工夫のポイントを澤朋宏社会連携・広報委員長によるインタビュー形式で、語っていただきました。



司会進行を務めた静岡県連盟の二人
三島第3団 BS 隊 河野伴隆副隊長
沼津第19団 山田夕理 RS

■ 令和3年度全国大会表彰

2020年度の顕著な活躍や長年の功績のあった方々や団体の受章内容とお名前のご紹介がありました。改めて、本当に多くの方々の様々な貢献によってスカウト運動が成り立っていることに、皆が感謝の気持ちを共にする時間となりました。



公共奉仕綬 / 7隊
スカウティング褒章 / 5人
褒状 / 1人
団委員長、隊長表彰 / 31人
特別功績章 / 1人
感謝盾 / 4人
特別感謝章 / 2人
日連感謝章 / 6人
感謝状 / 19人、18企業、団体
維持会員協力依頼額達成県連盟 / 39県連盟

きじ章 / 1人
たか章 / 43人
かつこう章 / 94人

組織拡充表彰
加盟員数の増加 / 5県連盟
ビーバースカウト隊設置率 / 5県連盟
優良団 Sランク / 7県連盟 9こ団
Aランク / 23県連盟 73こ団

■ 100周年記念事業・18NSJ 進捗について

100周年記念事業実行委員会の佐野友保委員長（専務理事）と第18回日本スカウトジャンボリー実行委員会の白川雅之委員長よりそれぞれの計画の説明がありました（本誌2～3頁の100周年事業記事でその概要をお伝えしています）。



佐野友保
100周年記念事業
実行委員会委員長

白川雅之
第18回日本スカウトジ
ャンボリー実行委員会
委員長

■ 100周年記念グッズ、静岡県連盟制作記念グッズ等紹介

商品開発小委員会 柏原一仁委員から日本連盟のさまざまな100周年記念グッズの紹介が、静岡県連盟からは今年の県連盟の100周年記念グッズの紹介がそれぞれありました（23頁と裏表紙参照）。



数量限定につき お早めに お買い求めください

■ 静岡県連盟挨拶

今年100周年を迎え、全国大会開催ホスト県連盟として全国の仲間を迎える準備を進めていた静岡県連盟の村松武博理事長からは、大変残念だが私たちはコロナに負けず工夫をしてスカウティングを続け、そしていつかからずまたお目にかかりましょうとのご挨拶がありました。



■ 総長メッセージ

最後に奥島孝康総長から、「志を高く持ち、世にまみれよ」との言葉で、このコロナ禍においても私たちボーイスカウトはこの世の中をより良くしてことを目指して、社会の中で一緒に汗をかいて活動していこう、とのメッセージがありました。



■ 全国大会にあわせ開催された関連会議

5月29日（土）オンライン

定時評議員会 10:00～12:00

県連盟代表者会議 13:30～15:30

全国ローバースカウト会議（RCJ）年次総会
15:30～17:30

※15頁に報告を掲載しています。

全国県連盟コミッショナー会議

16:00～18:00

■ 全国スカウト教育会議（テーマ集会）] オンライン

※テーマ集会は8月末日まで見逃し配信中。ぜひご覧ください。

5月30日（日）

10:00～12:00

- ① 社会ニーズ急増中！
期待に応えられる団を目指そう
 - ② 指導者も楽しんで活動できる！
だれでも研修に参加できます！
 - ③ やってみよう！セーフ・フロム・ハーム
学習教材
 - ④ ローバースカウト部門の紹介と
全国ローバースカウト会議の取り組み
- 13:30～15:30
- ⑤ 隊の活性に向けた
スカウトハンドブックの活用
 - ⑥ 次世代につなげるスカウト運動を考える
 - ⑦ SDGsとスカウティングの現在と未来

テーマ集会の視聴申込、
全体会の視聴は、こちら



静岡県連盟100周年を振り返る映像と、来年の全国大会開催予定地・兵庫県姫路市の紹介映像をもって、1時間の全体会は終了しました。

5月29日YouTube公開日の再生回数は3,000を超え、6月上旬時点では6,000を超えました。オンライン開催により通常の全国大会では参加できない方々にも参加いただけるというメリットも大きなものとなりました。

今回の記事では紹介しきれない多くの情報や、関わる人々の熱意や元気、笑顔、想いに触れられる1時間のバラエティ豊かな全体会。引き続き日本連盟のYouTubeチャンネルでご覧いただくことができます。まだご覧になっていない皆さまもぜひ、この1時間を体験いただき、100周年に向けた皆さんの活動にお役立ていただければと思います。



©SpaceX/JAXA

お帰りなさい！ ボーイスカウト・アンバサダー 野口宇宙飛行士

3度目の宇宙滞在となった国際宇宙ステーション（ISS）での半年間のミッションを終えて、5月に無事地球に帰還した野口宇宙飛行士は、皆さんご存知のとおりボーイスカウトの先輩です。宇宙から帰還間もないリハビリ中の野口さんが、後輩スカウトの皆さんにメッセージを送ってくださいました。ぜひスカウトにご紹介ください。

3度目の宇宙飛行から帰ってきました！

三指

スカウトのみなさん、ただいま！

2021年5月2日午後3時56分（日本時間）に、私が搭乗していたスペースドラゴン運用初号機が、アメリカ・フロリダ沖のメキシコ湾に着水、無事に半年間のミッションを終えて地球へ帰還しました。今回のミッションではアメリカ人以外で初めて民間宇宙船への搭乗を果たし、期間中二つのギネス公認記録（最も長い間隔〔約15年間〕をかけた船外活動、そして3種類の違った帰還〔滑走路・地面・海面〕を達成した初めての宇宙飛行士）も達成し、実り多いミッションになりました。

ミッション中は皆さんに応援していただき、たいへん感謝しています。皆さんからお預かりした日本連盟100周年の記念ワッペンも私と一緒に宇宙飛行して、無事に戻ってきましたよ。これからの記念行事が楽しみです。また『みんなで挑戦！』プロジェクトに参加してくれたスカウトの皆さん、成果はどうでしたか？ 新型コロナウイルスの影響で従来のような活動は難しいかも知れませんが、皆さんが「挑戦」することを諦めないことで、日本のスカウト活動の新しい可能性が広がっていくと信じています。



©JAXA/NASA

私は小学二年生でカブスカウトに入隊して以来、ずっとスカウト活動を楽しんできました。スカウト活動で身に着けた「そなえよつねに」の精神は、宇宙飛行士になってからもとても役立っています。また、世界中に広がるスカウトの輪のおかげでいろいろな国の人たちと仲良く一緒に活動できることも、宇宙飛行士として仕事をする上でも重要なことだと感じています。スカウトの皆さんにも夢を追いつけることの大切さや、宇宙開発の重要性を理解していただけるよう、引き続きがんばりますので応援よろしくをお願いします。

弥栄

2021年夏

ボーイスカウト・アンバサダー
JAXA 宇宙飛行士

野口 聡一

進歩に関する特別措置の 継続について

長引く新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮して、審査基準を各隊で設けることができたり、進級の申請期限を延長したりといった取り組みから、活動の活性につながるよう「進歩に関する特別措置」を2020（令和2）年5月に施行しました。

地域により状況が全く異なる中、困難な中でも「できる方法」を考えて進級や進歩、そしてスカウト活動を柔軟に取り組んでいただいております。しかし、今後もこのような状況が継続することを考慮し、特別措置の期間について継続することとし、2021年5月の全国県連盟コミッショナー会議において本件特別措置を説明、全国の指導者に向けて発信いたしました。



2020年度の状況を 把握する

昨年度における、富士スカウト章の申請・認証者数は59人。これは、一昨年の150人から60%減少しており、感染症拡大による活動自粛も要因の一つと考えています。一方、2020年度の高校3年生年代を対象とした本特別措置による、富士スカウト章申請期限の延長申請者は、2021年5月時点で21県連盟から93人おり、その内の6人のスカウトが認証手続きを終えています。予測ではありますが、申請予定のスカウトが全て認証されれば、例年並みの認証数になる見込みです。



2019年度、2020年度比較による富士スカウト認証者数

継続する特別措置の内容

内が進歩・進級に向けた特別措置の内容

■ 課程・進級取得可能期間に対する特別措置 (VS 部門)

対象 2021年度時点で高校3年生に相当する年齢のベンチャースカウト

- 現高校2年生に相当する年齢以下のスカウトについては、これまでの活動の制限を勘案して、次年度以降の申請期間の延長を検討する。

期限 富士スカウト章の申請期限を2022年3月31日から1年延長する(2023年3月31日まで)

備考 菊スカウト章、隼スカウト章についても、県連盟ごとの判断により、今回の延長に合わせて、同様に延長できるものとする。



■ 富士スカウト章の考査に関する特別措置

2 スカウト技能

- (2) 自ら設定する課題により、2泊3日の単独キャンプ(固定または移動)を計画し、隊長の承認を得て実施後、評価を報告書にまとめ隊長へ提出する。

ただし、外出や宿泊等の活動に関する制限、自粛等により実施が不可能な場合、計画を立て、その計画の実行に向けて可能な研鑽・努力する課題に取り組み、結果を隊長に報告する。

4 奉仕

- (2) 地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。

ただし、当該行事の開催がない場合は、以下のうち一つを実行する。

- ① 隊長やコミッショナーの協力を得て、地区や県連盟または複数団による「集合・対面にならない行事」または「小規模な行事」を企画し、実行委員または運営委員として奉仕し、その実績を報告する。
- ② 隊長やコミッショナーの協力を得て、地区や県連盟または複数団による「オンラインスカウトフォーラム」を企画し、実行委員または運営委員として奉仕し、その実績を報告する。
- ③ 隊長やコミッショナーのアドバイスを得て、地域、他団体等の行事に奉仕し、その実績を報告する。
- ④ 隊長やコミッショナーのアドバイスを得て、その他、地域の課題について考え、課題解決に向けた社会貢献を企画し、実施する。

プログラム委員より

計画したプロジェクトについて実施したいと思うのはスカウトだけでなく指導者も同じ。その一方で、このコロナ禍が落ち着くまで実施を延期することは、先が見通せないだけでなく、進級計画に合わせた活動ができません。特別措置として富士の進級細目については、後日実施することを前提として、実施に向けた研鑽や努力を隊長に報告するといった方法を示しています。

6 成長と貢献

- (1) 隼スカウトとして自己の成長と社会に役立つための課題を設定し、個人プロジェクト(研究、製作、実験など)を自ら企画して隊長の承認を得たうえで、少なくとも1か月以上にわたって実施、完結させ、隊長に企画書、計画書、および報告書を提出する。

ただし、外出や宿泊等の活動に関する制限、自粛等により実施が不可能な場合、計画を立て、その計画の実行に向けて可能な研鑽・努力する課題に取り組み、結果を隊長に報告する。

プログラム委員より

隼のチームプロジェクトやキャンプ、炊事についても同様に今できること、できないことを見極めつつ、隊指導者の皆さんの判断でスカウトの活動を推進していただくことが望まれます。



詳細は日本連盟 Web サイトをご確認ください。

https://www.scout.or.jp/member/covid19_scout_advancement/

2020年度の

「ボーイスカウトとあそぼう！ ワクワク自然体験あそび」 を振り返って



本誌2020年9月号 (No.739)、11月号 (No.740)、2021年3月号 (No.742) でご紹介してきました「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」事業（以下、自然体験あそび事業）について、2020年度事業としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも全国の団のご協力を得て無事に終了しました。今号では、自然体験あそび事業を数字で振り返りますので、今後の団で募集活動を実施する際の参考にしてください。

数字で振り返るその1
実施会場数 当初の計画は **717** 会場 → 県連盟からの希望は **848** 会場 → 実施したのは **512** 会場

県連盟からの希望は、日本連盟の見込みを大きく上回る**848会場**でした。予算等の調整を行い、その全てで実施することにしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやむを得ず中止とした会場も

あり、最終的には**512会場**での実施となりました。この内、**6県連盟**では**30を超える会場**での実施です。

静岡県連盟 / 39会場
 神奈川県連盟、大阪連盟 / 38会場
 愛知連盟 / 36会場
 兵庫連盟 / 34会場
 千葉県連盟 / 32会場

数字で振り返るその2
参加した子どもの数 参加したスカウト **7,891** 人 + 参加した一般の子ども **11,753** 人 = **19,644** 人

全国で**11,753人**の一般の子どもに自然体験あそびを提供することができました。この運動の使命を考えたとき、新型コロナウイルス感染症の影響により、不安感、閉塞感などを感じている全国の子どもに自然の中で心身ともにリフレッシュできる自然体験あそびを提供できた意義はとて大きかったと考えて

います。それぞれの団が、この事業を通じて地域に貢献することで、ボーイスカウトが広く認知されたのではないでしょう。

なお、**3県連盟**で**800人**を超える一般の子どもに自然体験あそびの場を提供することができました。

静岡県連盟 / 858人
 神奈川県連盟 / 835人
 千葉県連盟 / 832人

数字で振り返るその3
入隊に結び付いた事例数 全国**1,774**団のうち **377** 団で **854** 人が入隊 **7.26** %

自然体験あそびは**512会場**で行いましたが、これは県連盟や地区での開催、1つの団で複数回を開催している場合もあり、実施した団の数ではありません。今回、この自然体験あそびを通じて、少なくとも**377** 団で**854** 人の新しい仲間を迎えることができました（854人は、令和3年4月1日から5月14日まで新たに加盟登録のあったスカウトの中で自然体験あそびに参加した子どもの数です）。

のことが考えられます。しかし、一方でこれは、とても大切な要因でもあります。そこで、団支援・組織拡充委員会では、今年度、「全国組織拡充担当委員長会合」や「スカウト運動活性化戦略セミナー」などを通して「募集活動を進めるにあたってのポイント」を広く全国のみなさんにお伝えすることとしています。

なお、同期間に新たに加盟登録したスカウトは、全部で**8,636** 人おり、この人数に占める自然体験あそび参加者の割合は、**9.88%** になります。

入隊に結び付く要因には、「自然体験あそびで工夫した点が功を奏した」ということだけに限らず多く

■入隊人数別団数

入隊人数	団数
1人	171 団
2人	86 団
3人	56 団
4人	28 団
5人	17 団
6人	8 団
7人	5 団
8人	2 団
9人	1 団
10人	1 団
11人以上	2 団

数字で振り返るその4

その他の興味深い数字

17,959人

当初計画されていた**848会場**で、申込みのあった一般の子どもの数。コロナ禍にあっって、いかにニーズが高いかわかります。

6,236校 / 2,700校 / 2日後

この事業のチラシ配付に協力をいただいた学校の延べ数。本事業は、文部科学省の受託事業であったことから、学校の協力を得やすかったとのご意見を多くいただいています。大切なことは、この事業をきっかけに繋がった学校との関係を維持することです。ぜひ、学校に

本事業の報告をする、学校行事に奉仕することを申し出でるなどして、地域に根ざした団づくり、活動の見える化を意識してください。なお、1会場あたり**平均12校**で**2,700校**のチラシを配付しています。学校を通じてのチラシ配布は、とても効果的であったと考えています。概ね、学校でチラシを配付してから、**2日後**にはwebによる申込みで定員に達する会場が多かったようです。

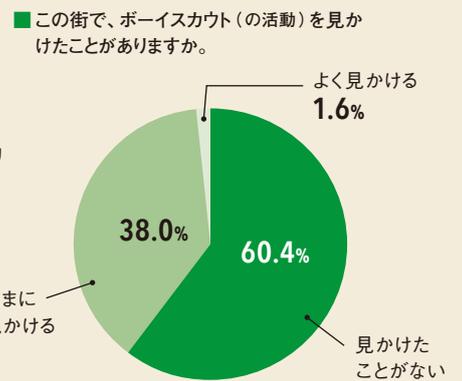
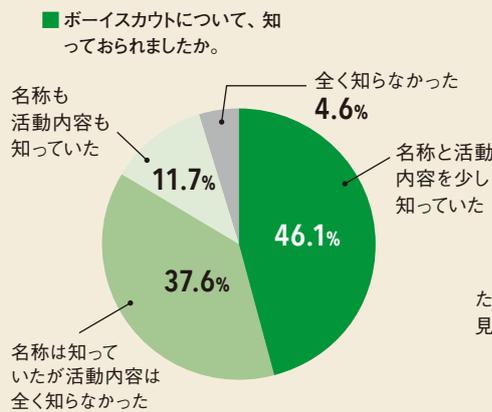
数字で振り返るその5

ボーイスカウトの認知度（保護者アンケートから）

95.4%の方が「ボーイスカウト」という言葉は知っていました。しかし、その一方で**83.7%**の方が「でも、何をしているかわく知らない」と回答しています。

また、**98%以上**の方が「ほとんど見かけない」と回答しています。

このことから、広く地域の子どもの対象とした本事業は、ボーイスカウトの認知度を高めるという視点からも意義のあるものであったと考えています。スカウト募集は、この運動の認知度を高めることから始まります。



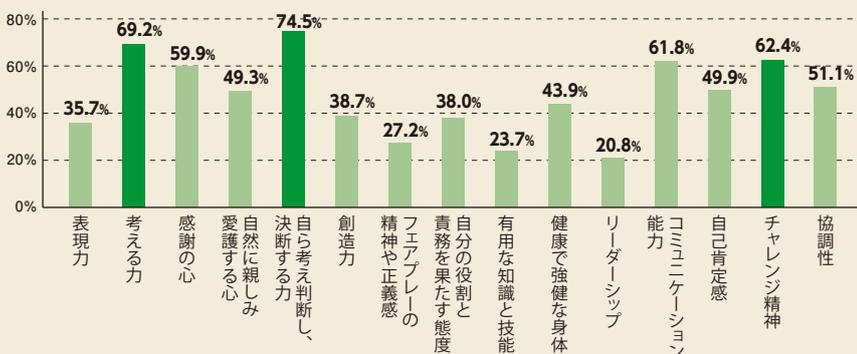
数字で振り返るその6

保護者が我が子に身につけて欲しい力（保護者アンケートから）

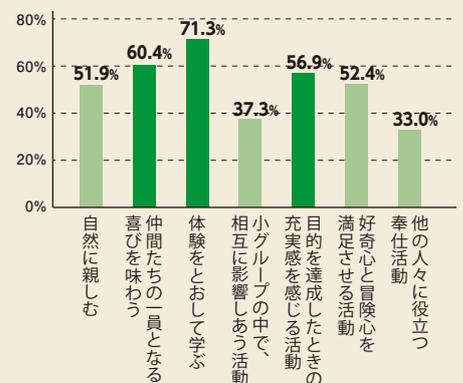
保護者が我が子に身につけて欲しいと思うことの上位3つは、「**自ら判断する力**」、「**考える力**」、「**チャレンジ精神**」でした。そして、これらを身につけるために必要だと思うことの上位3つは「**体験を通して学ぶ**」、「**仲間の一員となる喜びを味わう**」、「**目的達成で充実感を感じる**」でした。

これらは、スカウト募集チラシのキーワードになり得ますし、体験活動プログラムを計画する際の参考になり得るものです。

■ お子さまに身につけて欲しいと思うことにどんなものがありますか。



■ 上の質問でお答えいただいたことを身につけるためには、お子さまがどのようなことを経験することが必要とお考えですか。



今年度の「ワクワク自然体験あそび」事業は

日本連盟独自に秋から来年3月までを目途に団にご協力をいただきながら「ワクワク自然体験あそび」を実施します。多くの方から継続の要望をいただいている申し込みサイトについて実施するほか、文部科学省の後援名義の付与、チラシフォームの提供などの支援策を現在検討中です。

団支援・組織拡充委員会では、引き続き、皆さまとの協働により、スカウト運動の普及と新規加盟員獲得に向けて、取り組んでいきますのでご協力をお願いします。

相手国と日本との時差があることを知ることも、学びになります

海外のスカウトと同じタイミングでお話をする場合、時差があることを利用して、色々な国と交流することも可能になります。午前中であればアジアの国々。午後はヨーロッパやアフリカの国々。夜はアメリカ大陸の国々と交流するとよいでしょう。こういったように、地域によって無理なく交流ができる時間帯が異なることをスカウトに体験してもらうことは、自分たちの生活環境とはまた違ったところに人々がいることを体験できることに繋がります。

アマチュア無線を 集会プログラムにしてみよう

JOTI よりも少しだけ歴史が古いプログラムが、JOTA (ジャンボリー・オン・ジ・エア) です。アルファベット読み、または「ジョタ」と呼びます。

こちら海外との交信ではいくらかの語学力と準備が必要であるほか、日本においてアマチュア無線を用いて交信する場合は無線免許が必要です。本格的なプログラム参加の前に、無線の仕組みや通信に関連付けたり、選択課題をみつけたりと、プログラムを準備してみましょう。



神奈川・横浜第87団

ベツやかな文字を伝えるモールス信号という通信方法も体験してみましょう。知っておくと、非常時の通信方法として重宝されます。

無線が登場する映画作品を見てみよう

インターネットが普及する以前は、普段の連絡手段として用いることも多かったことから、時代設定が古い映画ではアマチュア無線がたびたび登場します。

「天空の城ラピュタ」や「紅の豚」などの映像作品では、登場人物がモールス信号を用いて、仲間同士で交信したり、それを傍受して、作戦を立てるシーンが登場しています。「崖の上のポニョ」では、主人公の男の子と海上で働く父親が、モールス信号を用いて会話するシーンが描かれており、まさに通信方法として用いられています。その他、「君の名は。」では、学校の無線機器を用いて、町中に避難を呼びかける様子が描かれています。こんな視点で作品を見ることも楽しみ方のひとつです。

説明会や事前体験会に 参加してみよう

JOTI では、集会プログラムとして活用したい指導者向けの説明会や、本番のアクティビティの楽しみ方を体験する事前の体験会を開催します。ここでは伝えきれないプログラム活用のメリットや具体的な準備方法なども紹介しますので、ぜひご参加ください。

一方、JOTA については、アマチュア無線の免許がなくても交信することができる特別な免許を申請し、スカウトが体験できる会場を、今年も全国3会場で開設予定です。これらの体験会やそのほかの追加情報について、詳しくは日本連盟 Web サイトを参照ください。

電池のいらないゲルマニウムラジオを作ろう

無線を知らない、無線免許を取得していないスカウトが多いときは、プログラムの導入として、自作のラジオ作りに挑戦してみませんか。最近ではスマートフォンアプリでも聞くことができるラジオを、電波に興味を持つきっかけづくりに活用してみると良いと思います。

プログラム展開資料を日本連盟 Web サイトで公開しています。実験や工作が得意なスカウト、指導者の協力を得て試してみましょう。

通話表や符号表を使って、単語や文を作ろう

フォネティックコードと呼ばれる通話表を用いて、アルファベットや日本語を正しく相手に伝える方法があります。無線通信の基本スキルですが、飛行機の航空管制や客室乗務員同士の情報共有において欧文通話表を用いることがあるそうです。スキルを学ぶだけでなく、スカウトに対して活用があることをセットで伝えることが大切です。同じくアルファ



JOTA - JOTI は、全国のスカウトや指導者が、アマチュア無線やインターネットを利用し、国内および世界のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的に開催される世界スカウト機構 (WOSM) 主催の公式国際行事です。

<https://www.scout.or.jp/member/jota-joti-2021/>

スカウティングとSDGs

— 一緒に行動しよう！ 持続可能な社会のために —

持続可能な開発目標 (SDGs) は、「leave no one behind (地球上の誰一人として取り残さないこと)」を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき 17 の目標と具体的な取り組みである 169 のターゲットによって構成されています。

今号では、新たな環境教育プログラム「Earth Tribe (アース・トライブ)」のプログラムの一つ、プラスチックチャレンジについて、スカウトの日における「河川や海岸」でのスカウトの活動に焦点を当てます。



地域の課題から考えよう

自分たちの海や河川を元の姿に戻す

環境への影響

「水の惑星」と呼ばれる地球は、その面積の 70% が海や川などの水で覆われており、生物が生きるための水や食べ物など、多くの恵みを受け取っています。しかし、私たちの出すゴミや排水により、その海や川が汚れています。これは世界の問題であると同時に、日本でも大きな社会課題の一つです。



また、近年では外来生物による生態系への影響も問題になっています。河川流域での外来水生植物の増殖やそれに付随した動植物への影響により、河川の姿が変わっています。

スカウトの取り組み

河川の流域や海辺を活動エリアとする隊や団では、スカウトの日の活動において、プラスチックなどの漂流ゴミや流木の撤去、NPO と協力した外来水生植物の調査と撤去などを行っています。こうした活動は、毎年取り組みを継続することで、スカウトが社会課題をしっかりと認知することにもつながっています。

活動の発展



東京・狛江第1団

プラスチックゴミ一つから、自分たちの地域の美化活動ではなく、河川を通じて海や地球そのものを大切にしていこうと視点を培うことにつながります。さらに、外来水生植物を通じて、地域に根付いている動物や植物を調べるなど、自分たちの地域について知る機会にしてみましょう。

3つのステップで取り組もう

環境教育プログラム「Earth Tribe」は、それぞれの問題や取り組みについて、スカウトが「知る」ことから始まり、周りの人と「協力」して自分たちにできることを「実行」するまでをひとつの挑戦として3つのステップを設けています。



香川・観音寺第5団

プラスチックチャレンジ「Plastic Tide Turners」の事例から、下記のステップを参考に取り組んでみましょう (BVS,CS はどれか1つ、BS はそれぞれ2つ、VS 以上はすべてに挑戦してみましょう)。

Hop! 環境について「知る」

- 1 スマートフォンやパソコンで「プラスチック 汚染」と検索して表示される写真を見て、自分たちが使っているプラスチック製品があるかを探す。
- 2 日常生活でプラスチックゴミが発生する場面を想像し、その内3つ減らす方法を考える。
- 3 自宅の庭や許可を取った場所に穴を掘り、日常生活で出るゴミ (紙、野菜の切れ端、ビン、ペットボトルのラベルなど) を埋めて、1か月後の変化を観察する。

Step! 地域社会と「協力する」

- 1 家庭で出るプラスチックゴミを使って、隊や団の仲間と協力してアート作品を作る。
- 2 海や河川を元の姿に戻すことをテーマにしたポスターを作り、団の活動場所に掲示する。または、環境作品の展示会等に応募する。
- 3 海や河川をきれいに保つための方法を考え、地域の団体や成人の支援を受けて、市民の声を届ける制度を利用して提案する。

Jump! 自分たちで「実行する」

- 1 多くの人々の協力により海や河川がきれいであること、飲み水が自由に得られることに感謝する。
- 2 自分の住む地域のほか、海や河川をきれいに保つための美化活動を自分たちで企画して推進する。
- 3 自分たちで考えるプラスチック削減のための行動を1か月間継続し、結果を隊や団で発表する。

各年代において取り組む内容やその難しさは異なります。それぞれ、自分たちにできることから始めてみましょう！



わたしたちの地球を守ろう ~Earth Tribe

<https://www.scout.or.jp/member/earthtribe/>



全国ローバースカウト会議 (RCJ) 2021年度総会

日時 5月29日(土) 15:30 ~ 17:20 / 場所 全国各地(オンライン開催)

出席 県連盟代表43人(代理1人を含む)、2020年度 RCJ 運営委員11人、2021年度 RCJ 運営委員応募者2人

参席者 日本連盟プログラム委員等3人



■ 議長挨拶



福島連盟 須賀川第1団
安齋 会香

RCJは今年で10年目に突入しました。今年度は都道府県連盟代表者が45人選出されるなど、構成員からの認知だけでなく、各都道府県連、指導者の方々からも少しずつ認知されてきたように思います。しかし、RCJのゴールは多くの人から認知されることではなく、活用してもらうことだと私は考えています。

すべての構成員に活用してもらえるRCJになるためにまだまだやるべきことは残されています。例えば情報共有についてみても、現在は共有される情報の発信元は一部に限られ、情報は一方通行であるように見えます。全国事業や国際の行事に関連する情報など、重要な情報が埋もれないように工夫する必要がありますが、本来ならRCJの構成員はRCJのネットワークを活用し、誰でも情報を発信し、受け取り、時には反応を返すことができることが理想ではないでしょうか。

他の地域や他の人とつながりを持ちたい、という思いはこのコロナ禍によってより一層加速してきているように思います。RCJがその希望に応えることは、構成員一人一人が主体性を持てる機会を増やすことにも繋がり、日本のローバー活動の活性化へと繋がっていくと信じています。



RCJに関する情報は、
こちらをご覧ください。

<https://rcjweb.jp/>

■ 議案

- 2020年度事業報告および決算報告に関する件
- RCJ 三カ年目標(2018-2020)評価報告に関する件
- RCJ 組織拡充に伴う憲章の改正に関する件
- 2021年度 RCJ 運営委員会の編成に関する件
- RCJ 三カ年目標(2021-2023)について
- 2021年度 RCJ 事業計画(案)および予算(案)について

2021年度 RCJ 年次総会は、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して昨年に続き、オンライン会議サービス(Zoom)を利用して開催しました。今回の議案は、それぞれ賛成多数により全て承認されました。2021年度のRCJ 都道府県連盟代表は45人となり、RCJ 発足から10年目にして過去最大の選出人数となりました。本総会にて選出された12人のRCJ 運営委員とともに、全国都道府県におけるローバースカウトの活動の促進に努めます。

■ 2021年度 RCJ 運営委員

- 議長 安齋 会香(留任/福島・須賀川第1団)
副議長 砂田 憲廣(留任/愛知・みよし第2団)
副議長 川越 慈音(選挙枠委員/愛知・名古屋第125団)
委員 菊池 桐子(北海道・東北ブロック代表/岩手・釜石第2団)
委員 伊藤 芳治(関東ブロック代表/千葉・流山第3団)
委員 福井 亜弥(中部ブロック代表/愛知・名古屋第101団)
委員 松永 慶太郎(近畿ブロック代表/兵庫・神戸第58団)
委員 北村 梨沙(中国・四国ブロック代表/島根・松江第1団)
委員 内田 早映(九州・沖縄ブロック代表/大分・由布第2団)
委員 尾形 凜太郎(選挙枠委員/宮城・仙台第2団)
委員 岡本 陸(選挙枠委員/茨城・桜川第1団)
委員 柏本 彩百合(選挙枠委員/愛知・瀬戸第1団)

RCJオンライン大会2021(仮称)開催!

新型コロナウイルス感染症拡大により、中止が決定したRCJ Route に変わるRCJ 全国事業を今秋11月にオンラインにて開催いたします。今までにないオンラインイベントがあなたを待っています! 全国のローバースカウトおよび同年代指導者の皆様は、ぜひご参加ください。

日時 11月23日(火・祝) ~ 28日(日) 6日間

開催方法 オンラインによる開催

大会に関する情報は、今後日本連盟ホームページならびにRCJWebサイトに掲載予定です。

ボーイスカウト

PRムービーコンテスト2021



競え、
クリエイター



■ テーマ

Skill スキル**Entertainment** エンターテインメント**SDGs** 持続可能な開発目標

■ 作品条件

- ① ボーイスカウトのPRになる内容であること
- ② 10秒以上90秒以内であること
- ③ 他者の著作権、肖像権等を侵害していないこと
- ④ 過去に本コンテストに応募していない作品であること（自身のSNS等で公開済みの作品でも可）

■ 応募資格

応募資格は以下のとおりです。

- ① ボーイスカウト運動の目的に賛同する者（加盟員である必要はありません）
- ② 実施要項に同意している者
- ③ 動画の投稿、応募のための各種アカウントを保有している者（本コンテストに応募するために新規取得したもので可）

■ 求む! こんな動画

ボーイスカウトのPRになっているか

ムービーコンテストの一番の目標は、ボーイスカウト運動を動画で世界に発信すること。加盟員であるかどうかに関わらず、すべての人が見て楽しむことのできる動画を求めています。

伝えたいことがはっきりしているか

ボーイスカウトのPRになっていることはもちろん、PRとして、多様なボーイスカウトの活動の中で「何にフォーカスをあて」「何を伝えたいか」が見る人に伝わる動画を高く評価します。

動画が主体になっているか

動画だからこそ伝えられる魅力があると信じています。だからこそ、写真のスライドショーではない、動画ならではの表現を上手に使っている作品を高く評価します。

いよいよ募集開始!

7月1日(木)から10月31日(日)までを応募期間としています。

テーマに基づいた動画の撮影と編集ができれば、YoutubeやSNSへ投稿しましょう。投稿後、日本連盟ホームページ内の応募フォームを送信したら、応募完了!



コンテストの詳細は、ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2021/>

2021年度

スカウトの日

地球大好き! I Love the Earth.

実施日 9月20日(月・祝)を基本として全国で実施
主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

後援 文部科学省、厚生労働省、環境省(予定)
協賛 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

「スカウトの日」は、環境保全や環境美化をはじめ、さまざまな活動を全国各地で実施し、スカウト運動が地域社会に根差した実践活動であることを広く社会に知ってもらうことを目的としています。

それぞれの生活を振り返り、地域や国そして世界のために、スローガンである「日日の善行」を念頭に、スカウトとして自分にできることは何か考え、行動していきましょう。

今年は、国際目標であるSDGsに関連する活動資料のほか、数年に一度お送りしているのぼり旗を準備しています。資料申し込みは、6月末を締め切りとし

ておりましたが、7月11日(日)まで受付期間を延長して、全国からの申し込みをお待ちしております。昨年2020年の実施報告書では、SDGsに関連する取り組みとして、いくつかの活動を紹介していますので、ぜひご覧ください。



地球大好き!
I Love the Earth.

<https://www.scout.or.jp/member/scoutday-2021/>



2021年度「スカウトの日」
バッジデザイン
決定!

埼玉県連盟 蓮田第1団 カブスカウト

齋藤 杜糸さんの作品

※ デザイン制作者の了承を得て、一部修正いたします。

入選者コメント/まわりの虹を、手が痛くなるくらい一生懸命塗って、指の部分を頑張りました。今はコロナで大変だけど、みんなの気持ちを一つにして、これからもがんばりましょう。

スカウティングと信仰

—日常生活やスカウトの活動から見る信仰—

信仰心は、「ちかい」と「おきて」の実践をより深めるものであるとされていますが、その一方で「信仰」の指導は難しいという声もよく聞かれます。そのようなときは、身近なことから話をはじめていただくと良いかもしれません。今号では、これから夏を迎えて全国各地で行われる「お祭り」、そして普段の活動にもつながる40年以上続く環境への取り組み「スカウトの日」から、スカウティングと信仰について考えていきたいと思います。

1. 全国の祭事（お祭り）

日本には全国各地にさまざまなお祭りや行事があります。それらの祭事の多くは信仰（宗教）に寛容であり、信仰を限定したり、参加を断ったりというケースは少ないように思われます。これらお祭りや行事をとらえて、スカウトに信仰に関するお話しをしてあげては如何でしょうか。

年少部門に対しては、そのお祭りや行事が多くの人に関わりがあって開催できていることから、私たちはひとりで生きているわけではなく、多くの方に支えられて生活ができている、つまりは「生かされている」ということを伝えることができます。「きまり」や「さだめ」を実践できるように話しを進めていただくと良いと思います。

ボーイスカウト年代以上に対しては、「おきて」の実践と信仰心に関する指導を行っていただきたいと考えています。「おきて」の中に、信仰心と無縁であるような項目はありません。信仰心の高揚が「おきて」の実践に繋がり、更に「ちかい」の実行へと繋がっていきます。この年代になりますと、スカウトは明確に信仰する教宗派を持って活動しているケースがありますので、その場合はその教えに従うような支援を、まだ意識できていないケースでは、年少部門と同様に丁寧に指導されることが望まれます。

2. 全国一斉に実施する社会貢献活動「スカウトの日」

年代に合わせて「私たちがお世話になっているすべて（人・地域・自然などすべて）に、日々、感謝をして、少しでも恩返ししようと心がけること」というお話から、恩返し（感謝の心こもった行い）を考え、実際にやってみるという機会を設けては如何でしょうか。

「何か良いこと」って難しいことかもしれません。そこで、スカウトのスローガン「日日の善行」と毎年9月を中心に行われる「スカウトの日」に関連付けると考えやすいと思います。

「スカウトの日」は、全国のスカウトや指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとするさまざまなスカウト活動を全国の各地域において一斉に展開し、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献することを目的に実施する事業の一つであり、善行（何か良いこと）を行う良い機会になると思います。

今年もコロナ禍であることから、従来の清掃活動などが難しい地域もあるのではないかと思います。そのような時に、活動のヒントにもなるのが、国際目標であるSDGsの活用です。このSDGsを題材に何かを行うことが、「何か良いこと」につながり、スローガン「日日の善行」へとつながる一つのきっかけになると考えられます。

全世界で「ちかい」と「おきて」の実践ができる世界はSDGsの目指す2030年の未来へ繋がると信じています。我々指導者も、明確な信仰心を持つと共に、より深い「おきて」の実践を重ね「ちかい」を達成させましょう。



鹿児島・鹿児島第18団

コロナ禍でも「良いこと」を探そう！

信仰奨励委員会 町田 正照

私の住む地域では、新型コロナウイルスの猛威が収まらず、対面での活動が制限され、オンラインでの集会を行っています。

オンラインでの集会を始めて一年、最初は目新しかったオンライン集会も内容が一巡して、ネタが尽きたと感じておられる指導者も多いのではないのでしょうか？

自隊のオンライン集会で気づいたことがあります。対面での活動ではスカウトが周りに気をとられ、話に集中できない場面が多いように感じていました。しかし、オンライン集会ではさえぎるものがなく、対面と比較して、スカウトが集中して聞いているのです。

そのような気づきもあり、普段だと難しく感じられる「ちかい」や「おきて」の話も、丁寧に、ゆっくりと伝えるようにしています。効果の程はわかりませんが、きっと心に残っているだろうと思っています。

この状況下だからこそ、試すことができたこと、気づいたことなど、皆さんにもありませんか？ このコロナ禍でも良かったことを書き出してみました。

- 手洗いや消毒など、清潔に保つことを自分で率先してやるようになった。
- スカウト同士で、みんなの体調に気配りができるようになった。
- オンラインを活用することで、集会が気軽に開催できるようになった。
- 隊や団の指導者同士での会議が手軽・頻繁に行えるようになった。
- オンライン開催を含めて、スカウトの集会への出席率が良くなった。
- オンライン集会用のゲーム開発など、工夫することや挑戦することが多くなり楽しい。
- 対面集会が開催できたときにスカウトの成長をより感じられるようになった。

人の立場や役務により、いろいろな良い面もあるのではないのでしょうか？ できない理由を考えるより、できるようにする工夫を考えられると言われます。コロナ禍だからこそ挑戦できることを喜んでいきましょう！

神さま（仏さま）は、我々現代人に試練を与え、より一層の成長を期待されているのかもしれない。負けずに楽しいことを考え挑戦し今の時代を乗り切りましょう！

■ 野外活動のための安心・安全講座

東日本大震災10年 ～地震列島日本に暮らす～

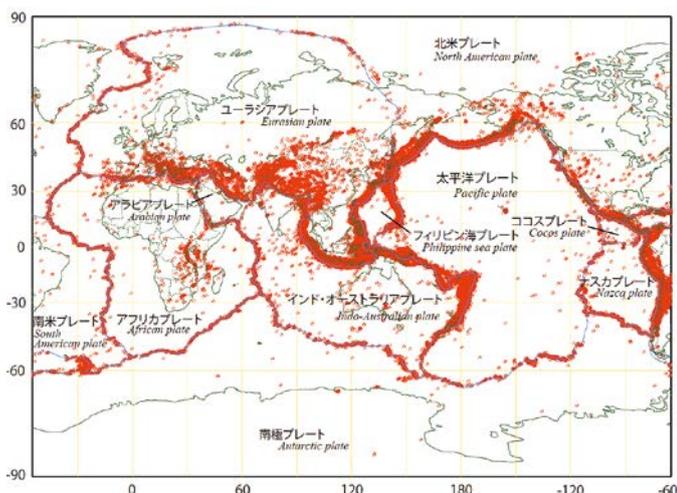
1. はじめに

私たちは地震大国といわれる日本に住んでいます。小さな地震は日常的に経験しているためか「あ、また地震か」「この間の地震より小さいから大丈夫だな」などとやり過ごしてしまう傾向があります。これは人間の心もつ特性で、無意識に都合のよい情報だけを見てしまったり現実を過小評価して、安心を得ようとするもので「正常性バイアス」と呼ばれます。東日本大震災では、巨大な津波を伴い、15,899人が亡くなり、2,526人が現在も行方不明です(2021年3月)。また、これまでの10年間に死者が出た地震は10回にのぼります。

大丈夫だろうという感覚だけでは絶対に対応できない地震や津波の脅威についての十分な知識と防災のスキルをもつことが不可欠です。

2. 地震や津波の脅威

中学校や高校で学習したと思いますが、日本付近は海のプレートである太平洋プレート、フィリピン海プレートが、陸のプレートである北米プレートとユーラシアプレートに向かって数cm/年の速度で動いており、陸のプレートの下に沈み込んでいます。そのため、日本周辺では複雑な力



出展：気象庁ホームページ「世界の主なプレートと地震の分布」
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/jishin/about_eq.html

がかかり、世界でも有数の地震大国となっているのです。東日本大震災では日本海溝に沈み込む海のプレートに引きずられた陸のプレートが反発して、大地震と大津波を引き起こしました。2016年の熊本地震は、陸のプレートの内部に力が加わり、断層が動いて発生した地震です。

地震で最も怖いのは津波の被害です。東日本大震災では14時46分の地震発生後、14時49分に津波警報が出され、宮城県石巻市で30分後、岩手県宮古市で32分後に3mの津波を観測しています。その後、7～8mの巨大津波になるまでわずか5分程度しかかかりませんでした。1983年5月の日本海中部地震では秋田県男鹿市の海岸を遠方で訪れた小学生13人が地震による津波に飲み込まれ命を落としています。地震発生が11時59分。そのわずか9分後には津波が到達しています。

海の近くに生活している人たちは、常に地震と津波を考えながら生活し、また避難訓練等も頻繁に行っています。しかし、都市部や内陸部に住んでいる人たちは、「地震＝津波」と即座に考えることができるでしょうか。もし、隊活動で潮干狩りに出かけていたら、海沿いの道をサイクリングしていたら、海辺のキャンプ場でキャンプしていたら……。安全計画に地震発生を想定した対応が考えられていますか。避難路を確認していますか。危険は海の近くだけではなく、山間部では斜面崩落や落石が、都市部ではビルの倒壊や落下物の危険が考えられます。

3. スカウトスキルを活かして

「このくらいの地震なら大丈夫」と思いたい、その数分間の時間のロスが避難の遅れにつながり、取り返しのつかない事態に陥ってしまうかもしれません。その教訓は、これまでの多くの地震災害で示されています。「地震が起きたら急いで高台へ避難する」という訓練を重ねていた小中学校で、その訓練に基づく行動が多く命を救った例がありました。

守るべきは自分とスカウトたちの命です。最初の一撃を避けることができれば、これまで身につけたスカウトスキルが命をつなぐのに役立ってくれます。ロープ結び、野営技能、野外料理の技、山野草の知識、水を浄化する方法など、これまでスカウト活動で取り組んだことがよみがえってくるはず。ですから、活動中に地震が起きたら、まず身を守ることを第一に考えて行動できるよう、日々のスカウト活動で意識的に取り組んでいくことが重要です。

■ 東日本大震災以降の死者の出た地震

年月	震央地名	M	人的被害	物的被害
2021年2月13日	福島県沖	7.3	死1、負傷187	全壊69、半壊729、損壊19,758
2018年9月6日	胆振地方中東部	6.7	死43、負傷782	全壊469、半壊1,660、損壊13,849
2018年6月18日	大阪府北部	6.1	死6、負傷462	全壊21、半壊483、損壊61,266
2016年4月14日～	熊本県熊本地方など	7.3	死273、負傷2,809	全壊8,667、半壊34,719、損壊162,500
2012年12月7日	三陸沖	7.3	死1、負傷15	損壊1
2012年3月14日	千葉県東方沖	6.1	死1、負傷1	損壊3
2011年6月30日	長野県中部	5.4	死1、負傷17	半壊24、損壊6,117
2011年4月11日	福島県浜通り	7.0	死4、負傷10	※東日本大震災に含める
2011年4月7日	宮城県沖	7.2	死4、負傷296	※東日本大震災に含める
2011年3月12日	長野・新潟県境	6.7	死3、負傷57	全壊73、半壊427

気象庁「日本付近で発生した主な被害地震(平成18年～平成27年)および(平成28年以降)」
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai1996-new.html>を加工して作成

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

お詫びと訂正／本誌発行版からWEBサイト掲載版における修正

本誌発行時、岩手県釜石市と宮城県石巻市とを誤って記載しておりました。多くの方々には不快な思いをおかけしましたことに、深くお詫びを申し上げます。また、当該の本文末尾9行目の表現が適切ではないとご指摘をいただき、それを改めました。今後このようなことのないよう、原稿執筆陣、編集担当者ともども連携を深め、記事記載内容の確認体制を改めてまいります。

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます

2021年 3~4月度

【北海道】

今井 憲克
【岩手】
向井田 敏宏
B S 水 沢 3

【秋田】

千葉 利昭
東海林 正雄
北林 正規

【山形】

山形新聞社
【群馬】
関 幸子
中本 祐太

【埼玉】

鈴木 俊明
島村 圭一
竹内 儀治

住吉 秀幸
木村 伸司
BSさいたま13
B S 宮 代 1
B S 川 口 19
BS埼玉県育成会

【千葉】

根本 孝英
片寄 朗
廣瀬建築研究所
根本企画工業(株)

【神奈川】

白倉 栄太郎
川合 逸平
野本 千恵子

【東京】

小町 國市
鈴木 秀男
菅原 雅雄

【大阪】

横山 和久
武藤 八朗
平塚 吉直

植松 弘幸
向井 宗晴
B S 北 1
B S 品 川 2
BS南武蔵野地区
BS多摩西地区
(株)立川印刷所

【新潟】

中野 充
大澤 久弥
捧 裕一郎

【長野】

遠藤 博子
B S 鎌 倉 5
湘南地区 しらほ倶楽部
BS神奈川連盟

【石川】

馳川 尚基
【長野】
青木 秀樹

【岐阜】

木村 芳郎
早川 宏治
【静岡】
瀧島 金吾
兼子 孝宏

瀧島 三郎
土山 惟之
鈴木 典江
鈴木 利昌
熊谷 実千雄
BS富士宮地区
世界救世教
スカウト協議会

【愛知】

渡辺 光雄
前山 秀興
瀧 克巳

【三重】

梅川 逸人
吉田 則幸

B S 鈴 鹿 7
サンモーター(株)
【滋賀】
(株)本郷工業
【兵庫】
杉本 光俊
日下 孝明
匂梅 博美

【奈良】

松浦 幸夫
鹿野 修
(株)永井 永井恵一
(株)芝浦照明

【和歌山】

中村 光太郎
楠見 製材(株)
(株)鳥精機製作所

【大阪】

道野 真澄
高見 篤志郎
福田 雅之
小川 時弘
村木 千恵

【鳥取】

涌島 勉
【鳥根】
澤 真吾

【岡山】

坪井 慈朗

西山 勝正
二宮 雄一
【山口】
池田 信幸
赤松 泰城
【徳島】
西山 次郎
荒木 隆治
廣瀬 美佐子
山根 義孝

【香川】
辰野 恵一
【愛媛】
藤岡 一弥
BS愛媛県連盟
【福岡】
津城 栄治
坂口 亮二
城戸 高弘
B S 古 賀 1
B S 宗 像 2

福岡興業(株)
(株)西岡総業
【佐賀】
大串 和夫
久保田 洋司
【長崎】
渡部 明
前田 良治
【宮崎】
河野 充典
豊秀 昌彦

【沖縄】
島袋 義光
【日本】
パナソニック(株)
(株)保険あつとたび
プラネット
(株)ルディックススポーツ



マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>
3~4月に入会または1年継続された方々です。

【福島】
安齋 精児

【群馬】
河内 正美

【埼玉】
細井 京逸
高野 夏樹

【千葉】
若生 義行
野中 浩章

伊藤 芳績
鈴木 奨

【東京】
川村 健司
B S 武 蔵 野 4

【静岡】
杉山 邦宏

【愛知】
柴山 力
野中 浩章

藤田 卓也
【滋賀】
深田 徹

【京都】
朝倉 涼介

【奈良】
山口 和人
西岡 一也

【大阪】
間野 智之

【香川】
坂間 高博

【愛媛】
高田 政則

【日本】
野崎 高弘
細川 秀紀
佐藤 栄保

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他

栃木 □ スカウトによるアマチュア無線の交信体験

宇都宮第12団 団委員長 中村 哲也

昨年10月にJOTA-JOTI PLAZA 体験記念局8J1JOTAと交信しました。その際に、無資格者でもアマチュア無線の交信に参加できる体験局の制度を知り、今年2月から4月の期間限定で体験局の免許を取得して「宇都宮12団体験局8J1YAD」を開局し、無資格者のスカウトたちがアマチュア無線の交信を体験しました。スカウトたちは、和文通話表で自分の名前を伝えることや、携帯電話と違う「単方向通話」のマイク操作に戸惑いながらも初めての無線交信を楽しみました。当団

は2016年から毎年、保護者や地域のアマチュア無線局の協力を得て、ジャンボリー・オン・ジ・エアーに参加していますが、今回、アマチュア無線の免許を持たないスカウトが交信に参加できたことで、JOTAや無線通信への興味を持たせることができました。今年のJOTA-JOTIにおいても体験局の免許を再取得して参加するとともに、地区内のスカウト達にも体験局による交信体験の機会提供を予定しています。



東京 □ おめでとう!! チャレンジ章完修40箇取得! 三鷹第1団 カブスカウト隊 黒木陽向君

三鷹第1団 団委員長 五十畑 康則

1954年創立という65年の歴史を持つ三鷹第一団にカブスカウト隊にチャレンジブックを完修してチャレンジ賞を見事に40箇取得したスカウトの誕生です。

世間では『スーパーカブ』と呼ばれているようですがあくまでも俗称とのこと。新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言の中でご家族の全面的なご支援により隊長との二人三脚コミュニケーションでお見事です。

因みに、陽向君のお姉さんの柚子さんもカブスカウトの先輩です。

新年度からボーイスカウト隊へ上進し、ちかいの式も終え次のステップに進んでいきます。菊スカウト章、隼スカウト章、富士スカウト章の高みを目指して楽しく健やかに活動に勤しんでいただけるよう期待しています。



茨城 □ すべての人に感謝と新型コロナの収束の祈りを込めて千羽鶴の贈呈

取手第3団 中野 優子

取手第3団では、新型コロナ感染拡大による活動自粛期間中でも自分たちができることはないかを考え、スカウトだけでなくリーダー・保護者も一緒になり各家庭で折り鶴を作り、千羽鶴を制作しました。

感謝と祈りを伝えようと始めた活動でしたができあがった千羽鶴を見て、離れていても思いを一つにできていたのだという嬉しさと年齢や立場関係なくみんなで一つのものを作り上げたという達成感を味わうことができました。「人のために」と思い始めた活動でしたが、気づけば自分たちの絆を深めることにも繋がった貴重な経験となりました。

茨城新聞 (2021.4.8)

**コロナ対応感謝
市に千羽鶴贈る**
ボーイスカウト
取手第3団

新型コロナウイルス感染症に対応している取手市役所の職員に感謝の気持ちを伝えようと、ボーイスカウト取手第3団(小林正雄団委員長)は3月25日、同市役所を訪れ、藤井信吾市長に千羽鶴を贈った。
同団はスカウト約30人が

所属し、千羽鶴は各自が自宅で作ったものをつなげた。「コロナと闘ってくれてありがとうございます」などと、メッセージが付いている。

贈呈には小林団委員長ら指導者とスカウト計11人が訪れた。代表して中野温人さん(14)が「僕たちが安心して生活ができるように、安全な生活ができています。は働いてくれてる人たちのおかげです」と感謝の気持ちを伝えた。藤井市長は「千羽をつないでくれたことをうれしく思う。市役所の入り口に掲示したい」と話した。

千羽鶴は五つ作製。同市社協、つくばみらい市と同市社協、JAとりで総合医療センターにも贈った。

千羽鶴を贈ったボーイスカウト取手第3団「取手市役所」

奈良 □ みんなで、オリンピック聖火を迎えよう

葛城第1団 団委員長 塚本 文哲

2021年4月11日東京五輪の聖火リレーが奈良県内に到着し、葛城第1団の地元である葛城市を通過しました。聖火リレーのランナーを出迎えようと、カブスカウトが手作りの万国旗を飾り付け、「がんばろう! 日本」と書いたプラカードを掲げて応援しました。

コロナ禍の中、沿道で距離を保って、声を出さずに聖火のバトンタッチを見守って、スカウト達は「感動でどきどきした」「無事にオリンピックが開かれたらいいな」と感激をあらわしていました。



徳島 「シトラスリボン」を配布しました

鳴門第9団 カブ隊長 石本 康樹

鳴門第9団では、新型コロナウイルスの患者や家族、医療従事者らを差別しない気持ちを広げるため、「シトラスリボン」プロジェクトに賛同し取り組みました。スカウトや保護者で約300セットを作成し、鳴門市長にシトラスリボンを手渡したのちに、市役所庁舎前で来庁者の方々に「感染した人も、医療従事者の方々も、それぞれの暮らしの中で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますように」と思いを込めて配布しました。

スカウトにとっても改めて差別やいじめについて考えることができました。



2021年度 日本郵便 年賀寄付金助成事業

2021年度日本郵便年賀寄付金助成事業（新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止を目的とする事業）として年賀寄付金の配分を受け、ボーイスカウト日本連盟 スカウト会館（東京都杉並区）に、教育計画の策定及び運営のための「会議室・事務室用 新型コロナウイルス飛沫防止パーテーション」を配備し、運用を開始しました。

新型コロナウイルス感染症については、依然として最大限の警戒が必要な状況ですが、この度の助成事業を通じて、青少年健全育成のための委員会活動や事務機能を担う会館の安全環境の確保の取り組みを進め、事業活動の維持継続を図っていきます。

年賀寄付金配分の原資は寄付金付年賀はがき、寄付金付年賀切手等に付加された寄付金です。助成金を充実するためにはこれらはがき・切手をご活用いただくことが大切です。

どうぞ、皆様も寄付金付年賀はがき・切手をご活用いただき、社会貢献・社会事業団体の活動へのご寄付をお願いいたします。



会議での利用の様子



会議室（鳥型机配置）の状況



事務室への設置状況

国際デー ～世界と共に考えよう～

国際青少年デー

8月12日
International Youth Day

世界の若者・ユース世代が社会のあらゆる分野に参画し、ものごとを推進、意見を反映させることができる社会を目指して、2000年から始まった国連デーの一つです。

国連では、ユースを15歳から24歳までと定義しており、その人数は18億人以上、世界人口の4分の1になります。SDGsの目標達成のためには、ユース自身が積極的にかかわることが重要であることに疑う余地はありません。

この国連デーには、毎年テーマが設定されています。2021年は「Transforming Food Systems: Youth Innovation for Human and Planetary Health」です。今後30年間で世界の人口が20億人増加すると予測されています。地球上の環境と生命を守るために、持続可能な形で食料システムの確保と若者・ユース世代一人ひとりが努力し、そして一丸となって推進し続けることができる仕組みづくりが必要であると認識されています。

日本連盟のユース世代であるベンチャースカウトは、進級制度の中で富士スカウト章を目指す一方、社会における個人の成長を目指し、自主的な活動を行います。また、ローバースカウトは、成人として社会に出ていく年代であることから、社会に対する奉仕活動や研鑽につとめながら、自己探求活動を行っています。

自身の成長と地域社会に対する貢献、これらをバランスよく、かつ率先して取り組んでいくことができるユース世代の活躍は国内外で期待されています。

世界の課題に気づき、それらに対してスカウト自らが行動するために、まずは「知る」ことから始めましょう。



<https://www.scout.or.jp/member/international-days/>

■お詫びと訂正

本誌2021年5月号(No.743)「受け継がれるスカウトスピリット」の記事中、7頁に記載しました「ダグラス・マッカーサー元帥」の“名譽総裁”は誤りで、正しくは“名譽総長”でした。深くお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

SCOUTING

に広告を出しませんか?

ボーイスカウト日本連盟の機関誌『スカウティング』では広告掲載を承っております。日本連盟の協賛企業や事業の広告だけでなく、皆さまの周りの企業やイベント事業等の広告を掲載いただくことも可能です。

中面1ページ、1/2ページ、1/3ページ、表3全面(今月号は右側のスカウトショップ広告面)、表4(裏表紙)全面など、掲載サイズもいろいろ。ぜひご検討ください。

◎訃報

日本連盟 名誉会議議長 小町 國市

日本連盟の名誉会議議長としてご尽力いただいた小町國市氏(東京連盟副連盟長)が令和3年5月29日、逝去されました(享年77)。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



【県連盟および日本連盟奉仕歴】東京連盟 副連盟長 昭和63年より理事を歴任、理事長/日本連盟 理事 名誉会議議長(平成9年より、野営・行事委員会委員、国際委員会委員、副国際コミッショナー、国際担当コミッショナー、教育本部委員、評議員を歴任) 【BS受章歴】昭和62年 かっこう章/平成9年 たか章/平成17年 日連感謝章/平成24年 特別感謝章/平成27年 スカウティング褒章/令和3年 特別功績章 【外部受章歴】平成20年 東京都知事 功労者表彰(自治)/平成24年 文部科学大臣 社会教育功労者表彰/平成26年 旭日双光章

小町國市さんを偲んで

盟友中の盟友小町國市さんの訃報を知り愕然といたしました。

私は、他人を大声で叱ったりしたことはありません。過ぐるとき小町さんから珍しく電話がありました。病状についてでした。「100年史の発刊を見ることができない……」との声に思わず初めて「小町さん! バカなことを言わないで!」と怒鳴りつけてしまいました。

思い起こせば、日本連盟の会議に出席し始めたころ、声の大きな人が目につきました。そのときが小町さんとの出会いでした。そして、総コミッショナーを拝命した時、国際担当コミッショナー(当時)を選ぶこととなり、APRを中心に世界的にもご活躍の小町さんの名が浮かびました。お願いしまし

たら即快諾でした。名前も「國=國」などで親しみも増し、『日本ボーイスカウト運動史II』(80年史)の編纂もご一緒しました。

小町さんは蔵書家であり、文筆家のように、また大変気配りのきく方で100年史編纂に当たって、大所高所から細かいことまで的確な助言をしてくれました。小町さんとのコミュニケーションはいつも郵便です。共に万年筆の青色文字で、投函すると直ぐ返書があり、それは電子メールよりも速く、生きた文字ですので意思疎通を図れました。独特の大きな文字の「小町来信綴り」が途絶えてしまうかと思うと寂しくなりません。

小町さん、ありがとう。心からご冥福をお祈り申し上げます。

先達・顧問 鈴木 國夫

2021
No.745
9

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2021年9月中旬発行

特集 2021年夏の諸活動

まだまだ予断を許さないコロナ禍の日本。それでも Scouting Never Stops! で「富士特別野営」や「第14回世界スカウトフォーラム(オンライン)」などの予定もある今年の夏。全国の仲間の夏の活動をご紹介します。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2021年7月号 No.744 令和3年7月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

スカウティングは、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は固での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部に相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に関わらないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2021 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。

通常は ID と PASS を入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ていただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

この季節がやってきた。
 仲間との距離は少し必要だけど、
 いつも以上に、
 たくさん話した。
 荷物を詰め込み、
 準備は万端。

繰り出そう。
 1度しか来ない、
 今年の夏に。

SCOUT GEAR



mont-bell



スカウトギア™メドールバック22
 (写真左)

品番: 83550 価格: ¥13,200 (税込)
 容量: 本体20L、トップリッド2L
 重量: 605g 寸法: H60×W30×D20 背面寸法48cm

スカウトギア™メドールショルダー12
 (写真右)

品番: 83553 価格: ¥9,350 (税込)
 容量: 本体12L
 重量: 430g 寸法: H30×W41×D13cm

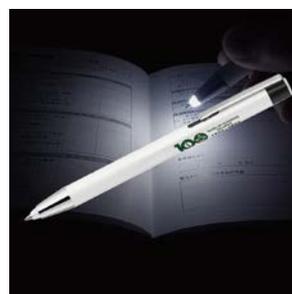
100th Anniversary Collection & New Items



品番: 81045
 品名: スカウトアルミ食器 (新)
 価格: ¥1,980 (税込)
 リニューアル版。サイズが変更になっています。



品番: 73025 (上)
 品名: 100周年ヘッドライト MS-G2
 価格: ¥5,940 (税込)
 品番: 73027 (下)
 品名: 100周年ヘッドライト MS-A5
 価格: ¥3,740 (税込)
 milestone とのコラボアイテムです。



NEW
 品番: 73024
 品名: 100周年ボールペンα
 価格: ¥660 (税込)
 蓄光パーツ追加で、より暗闇の中でも便利になりました。



NEW
 品番: 73035
 品名: 100周年温度計 ZIP-O-GAGE
 価格: ¥1,320 (税込)
 100周年別注のZIP-O-GAGEです。裏は気温温度インデックスです。



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



各商品の発売情報や詳細は、ホームページや各種SNS、ONLINE SCOUT SHOPのメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。

静岡県連盟は 今年で結成100年を迎えました

大正10年(1921年)11月に「少年団静岡連盟」が結成されました。

翌年、大正11年4月に静岡市城内尋常高等小学校(現静岡市立葵小学校)で「第1回全国少年団大会」が開催され「少年団日本連盟」を結成、ボーイスカウト国際連盟に加盟登録し世界中のボーイスカウトの仲間入りをしました。

この歴史的行事を記念した「スカウト像」が、誕生の地である静岡市立葵小学校の正門横に昭和47年(1972年)に設置されています。

SCOUTING 2021/7 744

スカウトイング
昭和53年12月15日 第3種郵便物認可
令和3年7月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03(6913)6262(代)

定価 200(税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟



熱海市で
またお会いしましょう!

令和3年度全国大会は、静岡県熱海市(世界救世教団教会館、瑞雲会館、MOA美術館)で開催予定のところ、新型コロナウイルス感染症拡大により、オンライン開催となりましたが、次の機会に、世界の温泉地・熱海でお待ちしております。



静岡県連盟結成100周年
記念式典を開催します

日時/ 令和3年11月28日(土)
場所/ ホテルアソシア静岡
内容/ 13時~表彰式・記念式典
16時~レセプション

また県内各地で「チャレンジ100 静岡スキルフェスタ」と題して、部門ごとにグループ単位の技能プログラムを実施し、「静岡一番スカウト」を目指します。



静岡県連盟結成100周年
記念グッズを作りました

ピンバッジと記念切手は静岡県連盟事務局で引き続き販売中です。



静岡県連盟結成100周年
記念誌を販売します

静岡県連盟100年の歴史を凝縮した貴重な記念誌です。お求めは、静岡県連盟事務局までお問い合わせください。

発刊予定/令和3年6月末
頒布価格/A4サイズ・ケース入り・DVD(写真集)付 10,000円

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟

お問い合わせ: TEL 054-255-6185
email bs-shizuoka@mail.wbs.ne.jp